

# 佐世保日米協会 会報(第9号)



JAPAN AMERICA  
SOCIETY OF SASEBO  
Bulletin (Vol. 9)

1993年9月1日発行

佐世保日米協会

佐世保市戸尾町4-5 佐世保中央病院内  
TEL 0956-23-5546

## 平成4年度事業経過報告

○H4. 7. 2

・太平洋艦隊艦船修理部長マッキンリー少将歓迎行事

○H4. 7. 3

・講演会(コミュニティセンター)

・演題 「アメリカのアジア戦略と太平洋艦隊の将来」

・講師 日高義樹氏(ハーバード大学客員教授)



○H4. 7. 6

・第31駆隊艦隊司令官マックドナー大佐他歓迎行事

○H4. 7. 30

・第7艦隊司令官ライト中将歓迎行事

○H4. 7. 31

・デビューク号艦長交代式(立神岸壁)

・定期総会懇親会(ホテル万松楼)



○H4. 8. 1~2

・西海アメリカンフェスティバル協賛

○H4. 8. 26

・太平洋艦隊洋上艦隊司令官ベネット中将歓迎行事

○H4. 9. 29

・在日米海軍司令官ヘルナンデス少将他歓迎行事

○H4. 9. 30

・強襲揚陸艦ベローウッド号入港歓迎行事

○H4. 10. 19

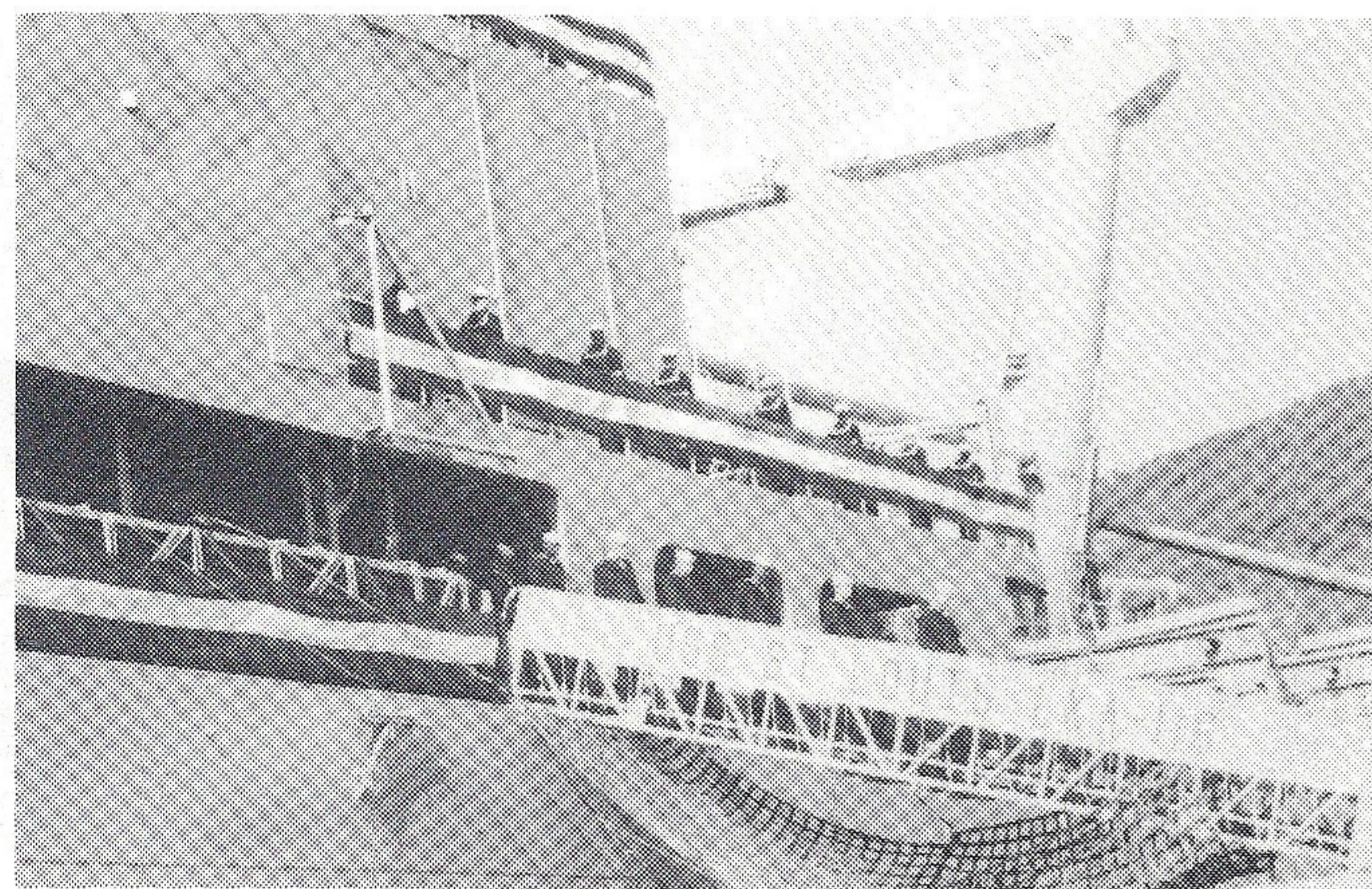
・ベローウッド号艦内見学会(立神岸壁)

歓迎会(ハーバービュークラブ)



○H4. 11. 2

・セントルイス号退役式(立神岸壁)



### 3. 親善事業

- ・西海アメリカンフェスティバル協賛 8月
- ・日米親善九十九島ロードレース協賛 11月
- ・アメリカ艦船入港歓迎行事 随時
- ・ボランティア表彰 年間12回
- ・その他

### 4. 英会話教室の開講

### 5. 姉妹都市親善交流支援事業

～。。。。講演会。。。。～

## 「アメリカのアジア戦略と 太平洋艦隊の将来」

ハーバード大学客員教授 日高義樹氏

平成4年7月3日 コミュニティセンターにて

アメリカの力は衰退し、アメリカのGNPなどの現状から計算すれば、20年後には借金の利息だけで8億ドルにものぼることになる。

冷戦が終っても世界各地で宗教上の問題などから争いは絶えず、アメリカは艦隊を世界の海に置く必要があると考えているが、アメリカ議会は、それを不要だということになってきた。

PKO問題で、日本人はお金だけでなく、血を流して世界に協力するのだから世界の現実に追いついたんだ、と思っているかもしれないが、今年中にアメリカ大統領選があってアメリカ政府が一つ変えればひっくり返るような時に、日本がPKOだけで自己満足しては危ない。たとえば、PKO問題についていえば、国会で議論を尽してみたけれども実現できなかった、とした場合、ブッシュ大統領にしてみれば、「日本は自分の言うことを聞かない、つまらない国だ」というかもしれないが一方で、PKOが不成立と決まれば「あゝやっぱり平和憲法を守るつもりなんだ」と受け取るだろう。

世界が大きく変わった時、日本人の対応はどうか、日本人のものの考え方はどうなんだ、と世界中が注目している時に、宮沢総理はブッシュ大統領に頭をなでて貰いたかったんだろ、と受け取られるような自己満足は世界に通用しない。

アメリカがお金がなくなったから西太平洋の軍事予算を削ろうとした時に、日本はどう対応してくれるのか、という問題について、当の日本では、誰れも、そのことについて考え

ない。このコミュニケーションのなさが今後の日米関係を見ていく上で大変重要なことになってくる。

米軍が西太平洋上に展開していた現実を。できれば続けてゆくのベストだと私も思うが、現実の政治の中で、アメリカの軍事力がなくなった場合を想定して考えていないのならば、今の状況をどう続けるか、宮沢総理もこれから10年、15年先を考えておくべきだ。

西太平洋でアメリカが展開してきたものを、続ける、続けない、維持する場合は、をよく考えておかないと、船を西太平洋から動かして日本へ持ってくる油代がないから、アメリカの船の修理はすべてアメリカ西海岸でやるぞということや西太平洋の安全は中国へ頼もうか、それとも日本の海自に委ねよう、という動きになるかもしれない。

日本がそれらの危険性から逃れる方法は今の日米安保条約の仕組みをなるべく長く続けることだろう。

アメリカはすでに今年から、空母をそんなに長くは動かさないから“リムパック”はやらない。PKOに使うお金を、現状維持に使ってはどうか、というように論議になると日本の政府はもう解らなくなってしまう。

アメリカの空母の燃料代を日本が払うなどということは、今の常識では考えられないかもしれないが、常識というものは時の流れによって変わるものだ。たとえばソビエトの今日のような崩壊は5年前の常識では考えられなかったことをてらしてもわかるだろう。

今後世界の中心はイランのテヘランになるだろう、という世界の評論家や政治家が現実にいるのである。そうしないためにどうすればいいのかを東京は考えていない。どうやって行けば安全か、日米安保条約をいつまで持続できるか、を真剣に考えるべきで、政治家は、今日のことより、明日何が起きるかを考えて給料を貰うべきである。

今の日本で国際情勢について現実感覚を持っているのは外務省の最前線にいる部長たちであって、政府主脳ではない。

今年の暮れ新アメリカ大統領は決まり、ヨーロッパではドイツのマルクはもっと強くなり、ロシアは秋にはエリツインかまたはその内閣が失脚する可能性があり“石油”が残るだけだ。

「佐世保日米協会」は日米安保の現場に現実的に接している。この協会の輪を拡げコミュニケーションをもってアメリカとの接点となる重要な役割を果たすことになるだろう。

(虹 平成4年8月号より転載)

★ 英会話教室のご案内 ★

ご婦人方を対象とした『坂田記念英会話教室』を開講しております。初級と上級の2クラスございますので、受講ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

日 時 毎週金曜日 上級 13時～14時  
初級 14時～15時

場 所 県北会館 4 F

期 間 1期 9月～12月  
2期 1月～3月  
3期 4月～7月

会 費 3,000円 (1期につき)

講 師 初級 Mrs. CHRISTENSON  
上級 Mrs. McKINLEY

佐世保日米協会

佐世保市戸尾町 4 - 5

佐世保中央病院内

TEL 0956 - 23 - 5546